

Birth Racing Project

ツインリンクもてぎ



SomeRights

A2 TECHNICA

AOBA
Driving Schoolverve.
Planning Consulting EngineeringSS
StarFive
Motor Racing Store

MSLASH

M's Auto
Mobile Service

IRVINE CO. LTD.

OFFICE
SUPPORT

アーバスホール

RACING GEAR
PRINT
SERVICE

PL0T2

PROTEX

2018 SuperTaikyu Rd5

サーキット：ツインリンクもてぎ

総エントリー台数：48台

クラス：ST-TCR 参加台数：8台

チーム名：Birth Racing Project

ドライバー：Aドライバー・HIROBON

Bドライバー・篠原 拓朗

Cドライバー・山脇 大輔

Dドライバー・奥村 浩一

9月21日

練習走行 午前：1時間
午後：2時間30分

9月22日

練習走行 午前：1時間5分
午後：予選（各15分間）

9月23日

第5戦決勝 5時間（137Laps）

予選結果：Aドライバー・2.04.625（クラス2/8位）

Bドライバー・2.04.609（クラス7/8位）

合算：クラス4位

決勝結果：3位

Aドライバー：36Laps

Bドライバー・79Laps

Cドライバー・22Laps

Dドライバー・

金曜日

AM レイン

Bドライバーオーディション

Aドライバーの方は決まっていたので、残りの3人でBドライバーオーディションを行いました。

Super耐久ではA.Bドライバーの合算タイムにより予選順位が決まるので非常に大事な役割です。

初めてのツーリングカーでのもてぎ走行となりましたが、乗り出しから良いペースで走る事が出来、無事にBドライバーでの出走が決まりました。

PM レイン

午後は雨脚を伺いながらの走行となりましたが、非常に良い感触を得る事が出来ました。

Newタイヤを履いた際のグリップ感も良く、アタックはフィーリング共に良かったのです。

しかし、チームからの指示でピットに入る周以外はセクタータイムをまとめる事が出来なかったなので、予選へ向けてもまとめることが必要でした。

土曜日

練習走行 ハーフウェット

小雨が降る中スリックタイヤでの走行となりました。ツーリングカーでのハーフウェット走行が始めてだったので最初はかなり慎重に走行しました。次第に雨は止みましたが、その際に他クラスの処理が全く上手く行かずタイムを出すことが出来なかったのが、決勝に向けての課題となりました。

予選 ドライ

今回の予選は前回の鈴鹿よりも失敗が目立つ予選にしてしまいました。まずはタイヤの熱入れからです。1周目からアタックをした際にリアが温まりきっておらず、もう1周ゆっくりと熱入れをするべきでした。またアタックに関しては、全体的に突っ込み過ぎてタイムが出ないという初歩的な失敗をしてしまいました。ピットインの周に無理していない時の方がタイムが早いという結果に終わり、自分で非常に悔しさを残す予選でした。今回の悔しさを忘れずに絶対に次戦に繋げていきます。

日曜日

決勝 ドライ

5時間レースの際は4ステイントにて走りきります。当初の予定ではA→B→C→Aドライバーの順で5時間を走りきる予定でした。そのため僕は2番目の走行です。

1時間15分～20分を目標とした僕のステイントはピットストップのタイミングやペースも良く6位で受け取った襷を表彰台争いまで持つて行くことが出来ました。

僕は去年までフォーミュラのレースに参戦させて頂いていた為、1時間以上のロングステイントを経験した事はありませんでしたが、問題なく走りきれ、最終的にはプッシュしてタイムを上げることもできて良かったです。

その結果、最後のステイント（4番目）も走らせて頂けることになりました。最後は1時間30分以上のロングステイントでしたが、チームから指示があったペースで走りきれ、運も味方につけて表彰台に登ることが出来て本当に嬉しかったです。

僕自身は決勝5時間の内、178分。約3時間走らせて頂き、とても勉強になりました。

まとめ

今回のSuper耐久参戦が決まったのはレースウィークの木曜日の夜でした。

もう既に木曜日から練習走行が始まっているなか、別チームでお手伝いに行っていた僕にBRPさんが乗れる話を下さり急遽決まりました。

もてぎでのツーリングカーは初めてでしたが、予選以外はとても良い形で終われたと思います。

予選は自分が欲張ったばかりに良くない結果にできてしまいましたが、課題は明確でその部分に対しての裏付けもあるので今後同じ失敗をしないようにします。

また、決勝に関しては初のロングステントを2回経験出来ました。最初にあった少しの不安などもなくなり良いペースで走れましたが、走りやタイム、タイヤマネジメントなど、全体的にもう1段階全てにおいて高い状態で走れるようになります。

今年やっとレースが出来、レース参戦への喜びや緊張、悔しさ、嬉しさ全てを味わえたレースウィークでした。この気持ちは僕の中で本当に大事なものだからこそ、今後・来年に繋げていけるようにします。チャンスを下さり、またいつも応援して下さりありがとうございます！

